

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

2021年9月分（12月31日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	2021. 9. 12	タービン補機冷却海水系設備 （タービン補助設備用冷却水を冷却するための海水を供給する設備）	3系統あるタービン補機冷却海水系設備のうちの1系統において、一定時間の間隔で行われるストレーナの自動洗浄が行われていないことを確認した。原因調査として、ストレーナの自動洗浄の制御に使用されるタイマーリレーの点検を実施した結果、タイマーリレーに異常が見られなかったことから、一過性の接点不良が発生したと推定した。その後、ストレーナの自動洗浄が正常に実施されていることを確認した。今後も運転状態の監視を継続していく。	処置済み	海水熱交換器建屋
2	2021. 9. 13	二酸化炭素消火設備 （火災時に二酸化炭素を用いて消火する設備）	補助ボイラー建屋にある二酸化炭素消火設備の定期点検において、消火の際に二酸化炭素の建屋外への流出を防止するダンパの動作確認をしたところ、ダンパが中間開度で固着したことを確認した。そのため、ダンパの軸摺動部へ潤滑剤を塗布し開閉操作をしたところ、固着が解消し、動作することを確認した。原因調査の結果、錆等の異物が軸摺動部へ噛み込んだことによりダンパが固着したと推定した。このため、補助ボイラー建屋の発錆していたダンパについて、取替えを実施し、1年に1回実施していた動作確認や手入れの頻度を暫定的に増やし、適切な点検頻度を確認することとした。	処置済み	補 助 ボイラー 建 屋

3	2021. 9. 17	<p>高圧炉心スプレイ補機冷却海水系設備 (高圧炉心スプレイ補機設備用冷却水を冷却するための海水を供給する設備)</p>	<p>高圧炉心スプレイ補機冷却海水系設備において、点検中に配管接続部からの海水の漏えいを確認した。 原因を調査したところ、周辺機器の点検時等に、当該箇所へ工具等が接触し微小な亀裂が発生したものと推定したことから、当該箇所を補修し、復旧した。 このため、点検時における接触防止についての注意事項を関係箇所へ周知した。</p>	処置済み	海水熱交換器建屋
4	2021. 9. 22	<p>原子炉格納容器調気系設備 格納容器内温度監視設備 (原子炉格納容器内の温度、空調機の供給空気温度等を監視する設備)</p>	<p>原子炉格納容器調気系設備のうち格納容器内温度監視設備において、原子炉格納容器内を冷却する送風機の出口温度が高いことを示す警報が発生した。 原因調査の結果、温度検出器と警報機能付き温度記録計※を接続するケーブルの端末部(温度記録計側)において確認された接触不良により通信不良が発生し、警報が発生したものと推定した。 このため、端末部の補修を実施し、温度指示が通常値に復旧していることを確認した。 ※当該温度記録計は、温度検出器と温度記録計の間で通信不良が起きると、異常を示すために記録計の温度を高側に振り切り、警報が発生する仕組みとなっている。</p>	処置済み	中央制御室
5	2021. 9. 27	<p>放射性廃棄物処理設備 排水監視設備 (管理区域内用被服の洗濯等により発生した廃液等を排水する設備)</p>	<p>放射性廃棄物処理設備のうち洗濯廃液系サンプルタンク※からの排水について、排水終了後に流量検出器の故障を示す警報が発生した。 <u>原因調査の結果、排水配管内面に発生していた錆により、流量計までの配管の一部が詰っていたため、流量を検出できず、流量検出器の故障を示す警報が発生したものと推定した。</u> <u>このため、当該配管の取替を実施し、流量が正しく表示されることを確認した。</u> ※洗濯廃液を一時的に貯蔵するタンク</p>	<u>処置済み</u>	サービス建屋

- ・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

※処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み : 要求事項を満足する状態に復旧済みです。
今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み : 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。
なお、今後、水平展開について検討・対応します。

- ・今月の更新箇所は下線で示しています。